

国立大学イノベーション創出環境強化事業の採択校一覧

資料 2

第53回ガバニングボード

R 3.3.1 1

- 新規採択実績 令和元年度 5 校（重点支援①②：3 校、：2 校）
令和 2 年度 4 校（重点支援①②：2 校、：2 校）
支援期間は原則 2 年間とし、特に優れた実績を上げた大学には追加で 1 年間の資金配分を行う。
- 財務諸表データ、民間資金獲得額増加計画調書 及び ヒアリングに基づく審査によって採択校を決定。

	採択年度 / 順位 / 採択校			令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
重点支援 #1 #2	令和 元年度	1 位	東京医科歯科大学	3 億円	1.1 億円 ^{#5}	特に優れた実績がある場合には配慮	年間配分予定額 (R1.6.13GB承認)
		2 位	山梨大学	2 億円	1 億円		
		3 位	名古屋工業大学	1 億円	0.3 億円 ^{#4}		
	令和 2 年度	1 位	岐阜大学		3 億円	1 億円 ^{#6}	特に優れた実績がある場合には配慮
		2 位	九州工業大学		2 億円	1 億円 ^{#6}	
重点支援 #3	令和 元年度	1 位	千葉大学	5 億円	2 億円	特に優れた実績がある場合には配慮	年間配分予定額 (R1.6.13GB承認)
		2 位	東京工業大学	4 億円	1.1 億円 ^{#5}		
	令和 2 年度	1 位	岡山大学		5 億円	2 億円 ^{#6}	特に優れた実績がある場合には配慮
		2 位	東京農工大学		4 億円	1 億円 ^{#6}	
配分総額				15 億円	19.5 億円		

#1 主として、地域に貢献する取組とともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする国立大学（国立大学運営費交付金の重点支援）

#2 主として、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で地域というより世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする国立大学（国立大学運営費交付金の重点支援）

#3 主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学（国立大学運営費交付金の重点支援）

#4 名古屋工業大学について、ガバニングボードは、令和元年度の民間資金獲得実績に重大な問題があると判断し、令和 2 年度の配分額を減額し、留保分を配分しないことを決定した。このため、配分額は、当初想定の 6 割の 0.3 億円となった。

#5 東京工業大学及び東京医科歯科大学について、ガバニングボードは、令和元年度に特に優れた成果をあげたと判断し、他大学の減額分を上乗せして配分することを決定した。このため、それぞれへの配分額は、当初想定に 0.1 億円ずつ上乗せされた 1.1 億円となった。

#6（ガバニングボード後に追記）資料 3 で開示したとおり、配分額は、令和 3 年度中に行うフォローアップの結果に基づいて決定される。